

公表

事業所における自己評価結果

事業所名

生活支援センターぶらねっと
放課後等デイサービス

公表日

令和7年 7月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		遊ぶスペース、活動場所が一緒の為、パーティションなどを使用している。 机の配置で、小学生、中学生となるべく近い席にしている。	声、音の遮断が難しい。 小学生と中高生の来所時間が違うため、活動時間が違う。空間が同じ為、混乱することがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		利用児の人数が増えてきている現状を踏まえ、次年度体制の強化が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		机の並び方や自立課題など構造化を取り入れて実施している。	低学年や強度行動障害のある利用児が増えた事で、対応が難しく、休憩を回すのが大変である。保護者や外部講師からの心配の言葉があった。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		清掃や使用した物品（玩具）などの消毒を徹底して行っている。 活動に合わせて空間を作っている。 創作物を展示したり、明るい雰囲気を作っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	パーティションの使用。	部屋はあるが、使用していると使用できない。 職員数を増やさないと別室での対応は難しい。
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		事業計画に沿って支援を実施し、目標設定や振り返りを行っている。	

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		頂いたご意見に対してできるところから改善に努めるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			意見する機会があるが、改善につながらない。 職員間の連携が不十分であり、足並みがそろわない様子を感じたため、建設的な話し合いなどの機会を設けるべきである。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		虐待防止や感染症対策など内部研修を実施している。 学校公開日などへも積極的に参加を促す。	放課後等デイサービス担当職員が出席しやすい時間帯の設定。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		法人のホームページやインスタグラムの投稿で公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		本人やその保護者の意見を踏まえ、その児童の成長に合わせ計画のみなしを行っている。また、他の事業者や学校の先生、相談支援専門員との連携も行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		計画作成にあたり、指導員との情報共有を図り、作成している。作成後は送迎担当職員や事務職員などにも情報を共有している。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		支援会議で指導員や支援員に計画や情報の共有を行い会議後は送迎担当職員や事務職員などにも情報を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		基本情報シートやアセスメント票を作成している。日々の記録は支援記録、個人日誌をPCに入力する形で記録している。	必要な情報収集のためにも定期的な見直しや追記された場合の整理が必要。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		ガイドラインに沿った支援を提供できるよう日々の打ち合わせや会議で検討をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		チームで行うと共に子供たちからの意見も尊重している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		長期休み（夏休みなど）や時期の活動で工夫している。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		長期休み（夏休みなど）や一斉下校で来所時間が早いときに集団活動を行っている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		指導員で受け入れ前に打ち合わせを実施している。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		児童の帰宅後、その日の振り返りを実施している。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		連絡帳に詳しく記入している。	写真やメールなどICT化が必要。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		期間内にモニタリング会議を行い、本人やその保護者の意見を踏まえ、その児童の成長に合わせて計画の見直しを行っている。相談支援専門員との連携も行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		組み合わせることで様々な体験をして頂けるように工夫している。	

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		子供たちが意見を出し合っ て活動決めるようにしてい る。 構造化支援で選びやすいよ うに工夫している。	
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所の サービス担当者会議や関 係機関との会議に、その こどもの状況をよく理解 した者が参画している か。	3		児童の担当者にできるだけ 参加してもらうことで、事 業所間の連携が図りやす い。	基本、担当者が出席してい るが、児童発達管理責任者 も同席した方が良い。
	27	地域の保健、医療（主治 医や協力医療機関等）、 障害福祉、保育、教育等 の関係機関と連携して支 援を行う体制を整えてい るか。	3		必要に応じて、他機関との 連携を図ることができてい る	
	28	学校との情報共有（年間 計画・行事予定等の交 換、こどもの下校時刻の 確認等）、連絡調整（送 迎時の対応、トラブル発 生時の連絡）を適切に 行っているか。	3		学校のHPで行事確認や一 斉メールや学校からのおた よりの確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保 育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業 所等との間で情報共有と 相互理解に努めている か。	3		必要に応じて、他機関との 連携を図ることができてい る。	

30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		必要に応じて、他機関との連携を図ることができている。法人内の移行者に関してはよりスムーズに移行ができています。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		研修に積極的に参加している。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		3	学校と学校の迎いの空き時間で近くの公園を利用し、他の施設の児童や地域の子供たちと交流が図れた。	地域の行事などで交流を図るなど、できる範囲から取り組む必要がある。
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3		積極的に研修会などに参加している。	
34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		迎え時や連絡帳、必要に応じて電話でやりとりを行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		研修等の有益な情報提供を行う。	施設内で取り組めて参加しやすい環境設定が必要。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に説明を行っている。また、モニタリング時や普段の活動を通して伝えている。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		日頃の支援の中で意思の尊重や最善の利益の優先を考慮している。家族に向けては、モニタリング時の他、日頃のやりとりの中で意向を伺えるように配慮している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		個別支援計画作成の都度、説明し、同意を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		迎え時や連絡帳、必要に応じて電話でやりとりを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		ご家族の都合も考慮した上で今後交流の機会を検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		苦情の受付、対応、体制につきましては、契約時に説明している。苦情の予防に努める為、ご家族に対して報告、連絡、相談を心がけている。	

42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		おたよりとして以前から配布していたが、更に今年度は新たにInstagramを開設し情報の発信を行い始めた。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		同意書に通りの内容のみに使用している。	
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		視覚優位の方には、絵カードなどで構造化支援を実施。家族から聞き取りを行い、意思伝達の方法を確認する。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	法人全体で、秋にお祭りを開催している。また、同事業所の生活介護事業では地域の方（ボランティア）との交流を頻繁に行っている。	放課後等デイサービス事業のみで開催はできていないため、今後計画をしていきたい。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		マニュアルを策定し、訓練を実施しています。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		業務継続計画（BCP）を策定し訓練をしています。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		利用開始時のアセスメントで確認している。また、年度初めに情報確認シートの記載をお願いしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		利用開始時のアセスメントで確認している。また、年度初めに情報確認シートの記載をお願いしている。また、医師の指示書がある場合はその指示に従い、保護者からの要望がある場合も対応する。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を策定し、研修、訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		安全計画を掲示している。	周知不足にならぬよう、活動の報告等で周知に努めたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットは特記録として記録に残し、全体で共有している。また、再発防止向け支援の見直しを夕礼や会議で検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		研修を実施している。また法人の虐待防止委員会での巡回チェックやアンケートなど対応している。	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		該当するしないに関わらず、すべての保護者の方に説明をするようにしている。	
--	----	--	---	--	--------------------------------------	--

○事業所名	生活支援センター ぷらねっと			
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 17日		～	令和7年 3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年3月 17日		～	令和7年 3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 4月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが 期待されること	工夫していることや意識的に行っている 取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同敷地内に者が通所される、生活介護事業、就労継続B型事業があり、学校卒業後の進路など将来的な不安を少なくすることができる。	支援学校の実習を受け入れると共に、活動プログラムの個別活動に就労継続B型の作業内容の一部を取り入れている。	職員の配置換えを計画的に行い、卒業して移行後も本人を良く理解している指導員が職業指導員や生活支援員として継続的な支援ができるよう目指します。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと 思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	地域の方や他の施設（地域の子供たち）との交流の機会が少ない。	通常の支援に加え交流に対応する指導員が不足している。	地域の学校（学童）との連携や自立支援協議会への提言を検討したい。児童指導員の増員の検討。
2	父母の会などの保護者同士の交流の機会がない。	ご家族の都合を考慮してしまい、計画に至らなかった。	実際にアンケートなど意思確認などする。また、任意の参加型の活動を検討したい。
3	事業所での活動など対外的に発信できていない。	個人情報保護など、すべての方がSNSに映る事を望んでいない可能性があると考えている。	インスタグラムなどに写真を使用する際は、事前に同意を得ること、更に、個人が特定しにくい対策を行う。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名

生活支援センター ぷらねっと

公表日

令和7年 7月 1日

利用児童数

13

回収数

13

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12		1		子供人数が増えているので、活動のスペースがもう少し広めだと嬉しいです。クールダウンできる場所などあると良いです。	その都度、必要な物を準備することでスペースの確保をしています。場所はパーティションの使用で空間を分けいますが、必要に応じて別の部屋を使用いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2			もう少し職員の人数がいた方が良いと思います。	以前と比べ利用する児童も増えてきておりますので、配置基準以上の指導員を増員したいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1			部屋の構造わかりやすいと思います。ただ、子供がパニックになった時クールダウンできる部屋はあるのでしょうか？	その都度、必要な物を準備することでスペースの確保をしています。場所はパーティションの使用で空間を分けいますが、必要に応じて別の部屋を使用いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	3			過ごしやすいと思います。	感染症対応も含め、清掃や消毒は欠かさずに行っております。今後も継続して行きます。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	3				今後も内部研修、外部研修を受講し専門性を持って支援を行います。

適切な支援の提供	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	3				定期的にプログラムを見直し、支援内容との整合性を高めて行きたいと思います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	13					今後も利用児の成長に合わせて計画の作成を行いたいと思います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	3				説明をよりわかりやすく実施していきたいと思います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	2				説明をよりわかりやすく実施していきたいと思います。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			1	子供の能力に合わせて、色々な活動をしていただいていると思います。プログラム ii がよくわかりません。	活動プログラムとお聞きしたいところこちらの不手際でプログラム ii と表記してしまいました。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	9	1		もっと外出の機会があると良いです。	外出の機会や、他の子供たちと交流できるような計画を検討したいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	4	1	4	情報提供のほかに、交流会の機会を検討したいと思います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			困り事や悩んでいる事など、いつでもお話を聞いて頂いています。	これからも遠慮なさらずにお申し付けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	2	1			今後も共感的に支援をしたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	7	3		保護者同士の連携があるかと言われるとちょっとないような気がします。	情報提供のほかに、交流会の機会を検討したいと思います。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2				これからも遠慮なさらずにお申し付けください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				子供の様子が連絡帳を通してよく分かるように伝わっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1			Instagramがあるのが嬉しいと思っている保護者が多いと思います。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1				これからも取り扱いに留意いたします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	4				訓練の様子をお伝えすると共に、Instagramなどのツールを使用して様子をお伝えいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	4				訓練の様子をお伝えすると共に、Instagramなどのツールを使用して様子をお伝えいたします。

	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	2			訓練の様子をお伝えすると共に、Instagramなどのツールを使用して様子をお伝えいたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2		事故というより施設の物を蹴っ飛ばしたときの説明は良く受けるので説明されていると思います。	事故、怪我に関しては、これからもお伝え致します。ご意見で頂いてますように、後日アザなどができる可能性があるかもしれないとの判断でお伝えしております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	4		子供本人にとっては怖いときがあるようで行き渋る日があります。	何かしらの原因があるのかと思いますので、その都度お申し付けください。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	3		楽しい時もあれば、気分によってだと思えます。	楽しみにしていることや、楽しかったとお子さんの様子をお聞かせください。プログラムや活動に取り入れて行きたいと思えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1		長期休みの間の送迎と平日帰り送って頂けることありがとうございます。郊外活動があると嬉しいですが、小さな子供たちに手がかかることも分かっています。	外出の機会を今後も多く計画したいと思えます。